



世界に一つだけの人形
宮之城人形作り体験

活力ある
長寿社会に向けて

9月19日は長年社会に貢献されてきた高齢者を敬愛し長寿を祝う「敬老の日」です。高齢者の方に、いつまでも健康で長生きしていただき、活力ある長寿社会を築くため、町では介護予防や健康づくり事業を行っています。

本町の高齢化率は令和4年8月1日時点で42・0%で昨年の同月よりも0・4ポイント上昇しています。超高齢社会と言われる現状と未来に関心を持っていただき、見守り支え合いながら誰もが安心して心豊かに暮らせる社会を、地域みんなで築きましょう。

高齢者クラブ・サロンの活動

グラウンドゴルフや脳トレなど各団体が工夫して活動しています。健康維持だけでなく、地域の見守りや支援活動にもつながっています。



介護予防につながる
ころぼん体操

童謡のリズムに合わせて立った状態やいすに座った状態で体を動かします。おもりを使うことで筋力を維持し、転倒や寝たきりを予防します。



高齢者元気度アップ・ポイント事業

高齢者クラブや、ころぼん体操などの介護予防を行う団体の活動に参加している65歳以上の方に、1回1ポイント＝100円を交付します。参加した際に、ポイントカードにシールを貼ります。年間50ポイントまで集められ、年度末に個人口座へ振り込みます。



ポイントシール

敬老商品券を
贈呈しています

町では、長寿を祝福し、敬老の意を表すため、毎年9月に80歳と90歳の方へ敬老商品券を贈っています。9月1日時点で、1年以上本町に居住している方が対象です。

対象者

- ▼80歳（昭和16年9月2日～昭和17年9月1日生）
 - ▼90歳（昭和6年9月2日～昭和7年9月1日生）
- 商品券の額
- ▼80歳………5千円
 - ▼90歳………1万円
- 商品券の使用について
- ▼500円券でおつりは出ません。
 - ▼町内の商店などで利用できます。
 - ▼使用期限は令和5年2月28日までです。



お問い合わせ先
高齢者支援課高齢者支援係
（内線2172）

あなたの元気が
地域の元気が

9月19日は高齢者を敬い長寿を祝う敬老の日。みんなで健康長寿社会を築きましょう。

週に1度、天神サロンで体を動かしている榎山さん。5男4女の9人きょうだいで、四女として生まれました。県立宮之城農蚕学校（現在の薩摩中央高校）に進学し、戦時中は満州に戦後の引き揚げで乗った船が沈没しかかった時は米軍に助けられ、九死に一生を得ました。

くしやま
榎山 ヤツ さん (98歳)

長寿の秘訣は、毎日濃い緑茶を飲み3食きっちり食べること。



夫とは約20年前に死別。夫婦で営んでいた榎山商店の手作り豆腐はとても評判だったそうで「優しくて何でもできてよか夫だった」と笑顔を見せました。



天神サロンでころぼん体操をする榎山さん（右）

現在は、娘さん家族と3匹の愛猫と暮らしている榎山さん。プロ野球や高校野球、メジャーリーグも観るほど野球観戦が好きで、大谷翔平選手の大ファン。いつも活躍を楽しみにテレビの前で応援しているそうです。好きな食べ物はバナナやキウイで、毎朝パンとバナナを食べ、間食をしない生活を送っています。長寿の秘訣は、毎日欠かさず濃い目の緑茶を飲み、3食きっちり食べる。きょうだいも長寿で3人が100歳を超えているそうです。

「私たち、まだまだ元気です！」

ふちがみ とめお
淵上 留男 さん (97歳)

長寿の秘訣は、飲酒や夜更かしせず体を動かすこと。



グラウンドゴルフが趣味という淵上さん。近所の公園まで歩いて行き、轟原グラウンド・ゴルフ同好会に週2回参加し汗を流しています。

昭和19年に徴兵され、銃の訓練を受けましたが戦地に出る前に終戦を迎えました。その後、ソ連によりウクライナにある収容所に連行され、伐採などをさせられました。食事が無かったり野宿したり、冬は気温が氷点下になるので辛くて不安な日々だったそうです。

現在は、娘さん家族と暮らししており、野球や相撲観戦が日頃の楽しみ。好きな食べ物は肉やうなぎ、フルーツで、3食しっかり食べて毎日風呂に入る生活を送っています。長寿の秘訣は「飲酒や夜更かしをしないで、毎日手足の軽い運動をする」と笑顔で話しました。

長寿者をご紹介

淵上さんは、6男2女の8人きょうだいで、五男として薩摩川内市東郷町で生まれました。長濱学園私立川内商業学校（現在の川内商工高校）を卒業後、17歳で当時日本の植民地であった北朝鮮に渡り、税関職員として働いたそうです。



妻が生前使っていたクラブを愛用

認知症サポーター

認知症の方と

その家族に寄り添う

サポーターに
なったよ!

誰もがなりうる認知症。町ではその症状に合わせた様々な支援策があります。認知症の方とその家族を地域で支える「認知症サポーター」もその一つ。安心して地域づくりに貢献する、認知症サポーターの活動について紹介します。



認知症サポーター養成講座を受講した佐志学童クラブの皆さん

認知症サポーターは
地域にいる応援者

認知症は誰でもなる可能性がある脳の病気。いつ自分や家族、友人や知り合いが認知症になるか分かりません。認知症は他人事だと無関心でいるのではなく、「自分の問題」として捉えることが大切です。

認知症の方やその家族が地域で明るく暮らしていくためには、その方々を支えていく仕組みづくりが欠かせません。認知症サポーターもその仕組みの一つ。認知症サポーターは、認知症を正しく知り、理解することで認知症の方やその家族に対して、できる範囲で手助けする存在です。

「応援者」として寄り添い見守って話を聴き、オンラインジカフェの企画や参加など、地域の特性や需要に応じた活動をしています。

認知症の方と家族の
暮らしを支える

地域での見守りは、認知症の方の安全を守るだけでなく、その家族が地域で孤立することを防ぎ、心理的負担を軽くすることにもつながっています。また、職場での見守りは、自治体や関係機関との連携、認知症の早期発見、詐欺の防止などにつながっています。認知症サポーターの見守り活動が、暮らしやすい社会に役立っています。

養成講座で
サポーターを育む

町では認知症サポーター養成講座を開催しています。地域住民や金融機関、企業、中高生など、様々な方が受講しています。見守りの目を増やし、より安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

薩摩中央高校でも養成講座を受けています

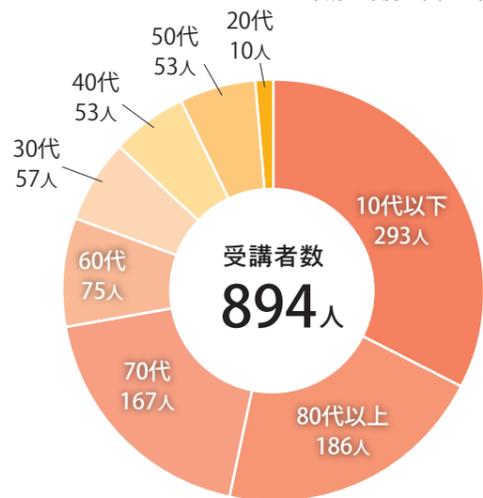


薩摩中央高校 福祉科主任
石田 健優 教諭

薩摩中央高校では、福祉科の1年生が認知症サポーター養成講座を受けています。高齢者が増えていく中で、生徒にとって認知症を知る第一歩になってほしいです。認知症を知ることは、認知症の方を支えるだけでなく、認知症の方を支える人の立場になって考えられることにもつながると思います。相手の立場になって人を思いやる大切さを学ぶことで、道で見かけた困っている人に声を掛けようと思えたり、自身のあり方を考えたりと視野も広がって、人と接して地域と関わることで地域づくりにもつながると思っています。

サポーター養成講座 年代別受講者数

平成29年度～令和3年度



小学生から90歳以上の方まで、幅広い年代の方が受講しています。これまでに、令和4年8月19日時点で延べ2,779人が受講しました。

9月は

アルツハイマー月間

1994年、国際アルツハイマー病協会が世界保健機関（WHO）と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と定め、この日を中心に認知症への理解を広める取組が行われています。また、2012年からは毎年9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。

日本でも、全国で普及啓発のためのイベントなど、様々な取組が行われています。鹿児島県では、世界アルツハイマーデーを含む1週間（9月18日～24日）を「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」と定めています。

本町では、役場本庁1階の町民ホールに展示コーナーを、図書室に認知症に関する書籍コーナーを設ける予定です。この機会に、認知症を身近なものとして考えてみませんか。

展示期間
9月1日(木)～30日(金)



認知症に向き合い、考えることができる様々な展示物が設置されます。

※写真は以前開催された「伝えたい想いプロジェクト」のコーナー

認知症サポーターキャラバンの豆知識

オレンジ色の理由は？

陶工・柿右衛門が夕日に映える柿から着想して作り出し、世界的な名声を誇る赤絵磁器。同じように、オレンジリングが世界中で認知症サポーターの証として認められればとの思いから作られました。



ロバ隊長って？

認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラ。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指すキャラバンの隊長として、ロバのように急がず、一步一步進んでいこうという意味が込められています。



受講した児童の感想

● さいしよは、にんちしようというの、何と想っただけど、今日始めてしました。

● はじめてクルマイスにのったとき、おじいさんたちがつい思いをしていると思いました。

● 車いすにのっている人は、毎日たいへんなおもいをしているのかなあとわたしは思いました。



講座の最後に修了証が手渡され、サポーターになりました。

● おじいちゃん、おばあちゃんにやさしくしようとおもった。

● にんちしよは、のうがはんだんしくなるんだなと思った。

認知症に関するお問い合わせ先

▶ 町地域包括支援センター
もの忘れや認知症の相談担当
☎52-4690

▶ 役場高齢者支援課 高齢者支援係
☎53-1111 (内線 2173)

町社会福祉協議会
認知症サポーター
養成講座



サポーター養成講座で 認知症を学び、支える

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、認知症サポーター養成講座を開催しています。講師を務めるのは、講座の研修を受けた認知症サポーターキャラバンメイト。認知症の症状や支援のあり方を分かりやすく教えます。

8月4日、佐志学童クラブの児童が認知症サポーター養成講座を受講しました。はじめに、高齢者や身体が不自由な方が普段どのようなことで困っているのかを実際に体験。その後、認知症の基礎知識や対応方法を、小学生向けの資料や紙芝居で学びました。



思うように体が動かない…

車いすに乗ってブレーキがあることを知ったよ。

参加した15人の児童は、楽しみながらも優しく接することの大切さを学びました。新しい認知症サポーターとして、優しい地域づくりに貢献していきます。



紙芝居
おじいちゃん
どうしちゃったの

認知症になったおじいちゃんの紙芝居で、寄り添うことの大切さを学びました。



講義
にんちしょうってなあに？

認知症の症状や接し方を学習。誰にでも起こることとして、熱心に話を聴きました。



体験
高齢者体験

おもりや車いすを使って高齢者の移動にかかる負担を疑似体験しました。

おもりを使った体験をしたよ！
歩きにくいなー



～さつまの郷 出前講座～

認知症サポーター養成講座の受講生を募集しています

認知症の方やその家族が安心して暮らすためには、見守りの輪を広げることが大切です。講座では、認知症の基礎知識や接し方、その家族への支援のあり方などが学べます。町地域包括支援センターで日程を確認の上、社会教育課社会教育係（電話53-1111）にお申込みください。

▶ 講座時間：1時間30分程度（相談可）、受講人数：5人以上



町地域包括支援センター
今村 章宏 主事

福祉への理解を広め就職を支援

7月21日、宮之城ひまわり館で、町社会福祉法人連絡会が主催する就職面談会と町が主催するさつまる・ふくしマルシェが行われました。面談会では、福祉事業所への就職を考えている高校生などの面談や、事業所で就労を希望する障がいがある方の面談が行われました。また、マルシェには6事業所が出店し、薩摩中央高校福祉科と出水中央高校医療福祉科も参加。体験コーナーの参加者は「普段できない体験で、介護の大変さを感じることができました」と話しました。



出水中央高校の学校紹介コーナー

薩摩中央高校の体験コーナー



視覚障害体験



段ボールベッド体験



車いす体験

ナシの収穫が始まりました

7月27日、虎居地区にある果樹園で町ナシ振興会の収穫祭が行われました。参加者は早生品種の愛甘水^{あいかんすい}を収穫し、糖度が高くみずみずしいナシを試食^{しじき}しました。本町のナシは、幸水^{こうすい}、豊水^{ほうすい}、新高^{しんこう}、新興^{しんこう}などが10月上旬頃まで収穫され、沿道の直売所や物産館で販売されます。観光農園ではナシ狩りも体験できますのでぜひご利用ください。観光農園マップ▶



ハサミを入れなくても持ち上げることで収穫できます



緑の中に映える一面のヒマワリが見物客に元気を届けます

虎居地区 黄色に輝くヒマワリ畑

8月7日、虎居地区の甫立公民館近くにヒマワリ畑が広がっていました。地域を明るくしたいと公民館が今年初めて企画したもので、甫立誠会長のほか地域住民3人が6月に種をまきました。この日は、町外から訪れた見物客が写真を撮っている姿も見られ、甫立会長は「花を見た人に喜んでほしいです。今年だけでなく来年も続けていこうと思います」と話しました。

宮之城中剣道部が県大会で優勝

8月5日、県中学校総合体育大会の女子団体で優勝した宮之城中学校剣道部が、原園修二教育長に優勝報告を行いました。感染予防対策を行いながら厳しい環境での稽古^{けいこ}でしたが、努力を積み重ね、見事優勝を飾りました。主将で3年の栢山那奈^{はげやま}さんは「試合できつい時でも笑顔で楽しめるよう気を引き締めて稽古を頑張り、チーム一丸となって九州大会に臨みます」と話しました。



左から引地美里さん、栢山さん、北原季乃さん、有川琴乃さん

木管三重奏 美しい音色で観客魅了

7月25日、宮之城文化センターでみやまふれあいコンサートが行われました。オーボエの広田智之^{ひろた ともゆき}さん、ファゴットの井上俊次^{いのうえ しゅんじ}さん、クラリネットの三界秀実^{さかい ひであき}さんが、大河ドラマ「西郷どん」のテーマ曲などを演奏し観客を魅了。鶴田小学校5年の上牧瀬梨央^{かみせ りお}さんは「音色がとてもきれいでした。クラリネットの音の高さの調節は勉強になりました」と話しました。



左から広田さん、井上さん、三界さん

五日町公民会 災害に備えて訓練

7月17日、五日町公民会が防災訓練を行い、80人が参加しました。避難方法や防災備品を取り扱う訓練をしたほか、町の補助金で購入した非常食を参加者に配付し、防災意識の向上を図りました。五日町自主防災たすけあい隊の永田清信^{ながの きよのぶ}隊長は「多くの方が参加し、有意義な訓練となりました。災害時で重要なのは地域内の連携。毎月の見守り活動も続けて災害に備えたいです」と話しました。



担架を組み立てて人を運ぶ訓練

消防技術を競う 紫尾柵野分団が優勝

7月31日、薩摩川内市で薩摩支部消防操法大会が行われました。消防団員の消火技術の向上や消防精神を養うことを目的とし、本町から6分団が出場。小型ポンプの部で紫尾柵野分団が優勝しました。指揮者を務めた吉永龍輔^{よしの りゅうすけ}さんは「支えていただいた地域の皆様や家族に大変感謝しています。これまで培った技術や分団の絆を地域のために役立てていきたいです」と話しました。



的を倒すまでの所要時間や規律、正確な動作を競います



いちその つよし
市園 豪さん(43)

時吉地区出身。高校卒業後、東京で就職するが、地元で働きたいとの想いが強く帰郷。自動車整備関連の会社に就職し、30歳で同地区に自動車整備工房1ZONを開業。4人の子どもがおり、現在は県PTA連合会の副会長としても活動している。



自動車整備
×
市園
豪

▼市園さんには様々な依頼が来ますが、中にはとても難しい案件もあり苦勞するそうです。しかし「終わりの来ない、ゴールの無い仕事は無い」との信念から依頼には必ず応じます。「自分一人で解決できないこともありました。同業の技術者たちにもアドバイスをもらい、解決できました。仕事を通してお客さんや自動車関係の様々な人と信頼を築いてつながりができていくので、やりがいがあります」と話します。

▼昔から機械いじりが好きだったと話す市園さんですが、自動車の技術の進歩は早く、追いつくのは大変だそうです。「勉強は大変ですが、技術があればお客さんとの信頼関係もでき、実績も上げられます。自動車の整備の働き方も変わり、今の車屋さんはいろいろな電子機器を使いこなして、かっこよく働いています。若い人にもっと知ってほしいですね」と笑顔を見せます。

▼時吉地区にある株式会社1ZON。敷地内には整備の依頼を受けた自動車だけでなく並びます。工場自動車整備に汗を流すのは同地区出身の市園豪さん。市園さんの確かな技術を頼って多くの依頼が寄せられ、忙しい日々を送っています。

盈進小学校卒業式。PTA代表でお祝いの言葉を伝えました。



スキャンツール。自動車と接続して正常に作動しているか診断します。

▼市園さんは、教育にも関心が高く、平成29年から盈進小学校のPTA会長を務め、盈進小学校創立160周年記念行事を行うなど、精力的に活動。令和元年から北薩区域代表で県PTA連合会副会長を務めています。「子どもの成長には親の役割が大きいと思います。親と先生が協力して子どもたちがより良い環境で学べるよう頑張りたいと思います。北薩地区の声を県に届け、県全体の教育の質を上げたいと考えています」と強い想いを話しました。九州ブロックPTA協議会の代議員にも選ばれた市園さん。「九州各地に出張があり、工場を留守にすることも増えますが、子どもたちのために頑張りますのでよろしくお願いします」と笑顔で話しました。

▶ 北薩空港幹線道路早期完成を要望

8月10日、東京都で北薩空港幹線道路整備促進期成会と国道328号整備促進期成会が、国土交通省と財務省に北薩横断道路の早期完成と早期整備を要望しました。会長を務める上野俊市町長は、スパークプラグや養殖ブリなど沿線地域で生産される物の輸送効率化や災害時の代替道路として北薩横断道路の必要性を挙げ、溝辺道路や広瀬道路、宮之城道路、阿久根高尾野道路など現在整備中の区間の早期完成と供用推進、安定的な財源確保を求めました。藤井直樹国土交通事務次官は「空港アクセスという点で重要視している。また、防災ルートとしても必要であると認識している」と回答しました。



藤井国土交通事務次官(中央右)に要望書を提出しました

▶ (株)プレシードと立地協定を締結

7月29日、株式会社プレシードのさつま工場新設に伴う立地協定調印式が、橘木宏幸北薩地域振興局長の立ち会いのもと行われ、協定を締結しました。同社は、平成元年に熊本県下益城郡松橋町で操業を開始し、工場を自動化するための独自開発した産業用機械を設計から製作、据付まで行っており、平成29年度には経済産業省から地域未来牽引企業に選定されています。今回の進出は、増加する新規受注に応えるためであり、新規雇用者も15人を予定。松本修一会長は、「鹿児島の企業と協力しながら事業拡大を図りつつ、町の活性化にも貢献していきたいです」と話しました。



左から上野町長、松本会長、橘木局長

▶ さつま町持続可能な森林づくり交付金が創設されました

伐採した森林の跡地に木を植え再び森林を造ることで様々な恩恵を受けられます。町では適正に森林を育成することで森林資源を持続的に利用しながら、国土の保全や地球温暖化防止を図るため町持続可能な森林づくり交付金を創設しました。造林した面積から二酸化炭素の吸収量を計算して交付します。



■交付対象者

森林所有者など

■交付金額

- スギやヒノキなどの針葉樹
造林した面積10aあたり11,000円
- クヌギなどの広葉樹
造林した面積10aあたり3,000円

※交付額の合計に端数が生じた場合は1,000円未満の端数は切り捨てます。

※町持続可能な森林づくり交付金は、国の森林環境保全整備事業(造林事業)とは別に交付されます。

■交付条件

- 10a以上の人工造林のみ対象
- 植栽本数は1haあたり1,500本以上
- 造林樹種は、スギ、ヒノキ、クヌギ、シイ、カシなどです。その他の造林樹種については、耕地林業課林業振興係までお問い合わせください。

申込み・お問い合わせ先
耕地林業課 林業振興係(内線2432)



書室へ行こう

おすすめの新书推荐

こども図書館
～えほんの森～

あつまれ！ わくわくパンまつり

作 / のし さやか
ひさかたチャイルド

もうすぐ年に一度のパンまつり！パレードに向けてみんな大はりきりです。中でも食パンくんきょうだいは、みんなをおどろかせようとして…。



屋地楽習館
図書室



晩秋行

著 / 大沢 在昌
双葉社

鶴田中央
公民館
図書室



オリーブの実るころ

著 / 中島 京子
講談社

+1

こども図書館10周年記念フェスティバル 絵本作家 よしながこうたくさんが やってくる！



日時：10月16日（日）午後1時30分～
会場：こども図書館～えほんの森～

「給食番長」や「宿題ファイター」の作者、よしながこうたくさんをお迎えして、おはなし会やワークショップを開催します。事前申込みが必要です。0円古本市も同時開催。古本市用の本は図書室で随時受け付けています。
※状態の悪い本は不可



©好学社

受付開始：9月19日（月）
申込方法：図書室窓口か電話で申込み
定員：50人

▶ こども図書館～えほんの森～ ☎ 57-1202 ▶ 屋地楽習館図書室 ☎ 53-1994 ▶ 鶴田中央公民館図書室 ☎ 53-1111（内線4412）
▶ 休館日 【9月】5日、12日、18日、26日 【10月】3日、11日、16日（こども図書館を除く）、24日、31日

知ってトクする！ 第100回 消費生活講座

動画投稿サイトなどの広告やSNSで知り合った人から勧められた副業に関するトラブルが非常に増えています。コンサルティング以外に情報商材の購入などもあります。

トラブルの事例

動画投稿サイトの広告で、初期費用1万円を支払い、成功体験を語る動画を見た。アプリ通話で「確実に稼げるようにマンツーマンでサポートする。コンサルティング費用は50万円だがすぐに取り戻せる」と言う説明を聞いてその気になり、すぐにクレジットカードで支払った。しかし、きちんとしたアドバイスを受けられず、全然もうからない。説明と違うので返金してほしい。



「簡単に稼げる」は本当？

副業コンサルティングに注意

アドバイス

- ▶ 広告や宣伝に惑わされないように気を付けましょう。
- ▶ 詐欺や悪質商法の勧誘手段として悪用されるケースが多く、業者と連絡が取れなくなりクーリング・オフの主張が困難な場合があります。不審な点があったらきっぱり断りましょう。
- ▶ SNSは便利ですが、悪意のある相手が潜んでいるリスクも認識した上で、安全に上手に利用しましょう。

困ったらすぐにご相談ください

相談窓口（相談無料・秘密厳守）
商工観光PR課 商工振興係
☎ 53-1111（内線2286）
土日の相談は消費者ホットライン
☎ 188 泣き寝入りはいややハ

こんにちは
保健師です

ハローベビー家族学級を始めました

妊娠・出産は、妊婦さんと家族にとって大きなライフイベント。特に女性は、未知の経験に対する不安などがあるかもしれません。町では、新たな家族を迎える方に向けて、ハローベビー家族学級（妊婦教室）を今年度から始めました。出産後の育児のイメージづくりに参加してみませんか？

楽しく学んで明るく赤ちゃんを迎えましょう

妊婦さんにご家族の不安や疑問に応えながら、妊娠中を楽しく過ごせるきっかけづくりをお手伝いしています。すすく育児相談や離乳食指導などの見学もでき、他の妊婦さんとの交流の場にもなります。個別相談も受け付けています。

私たちが教えます



妊娠中からの赤ちゃんへの語りかけや心穏やかに生活することで、お腹の赤ちゃんにもお母さんにも良い影響があります。周りの人の助けも借りて、子育てをイメージしながら、赤ちゃんを迎える準備をしていきましょう。

子育て専門相談員（助産師）
津田 範子



ハローベビー家族学級（予約制）

開催日：11月4日（金）
1月6日（金）
3月3日（金）
時間：午前10時～午前11時
場所：宮之城保健センター
対象者：妊娠6か月以降の妊婦さんとそのご家族
参加料：無料
申込方法：感染拡大防止のため予約制です。子ども支援課にお電話ください。



妊婦さんとお腹の中にいる赤ちゃんのため、しっかり食事をとることが大切。主食、副菜、主菜をそろえ、バランスの良い食事を心がけましょう。体調がきついときは無理をせずに周りの方に食事作りをお願いして、家族で楽しい食事の時間を過ごしてください。



栄養士
松尾 栄子

生まれる前の疑問や不安を聞いてくれました

参加しました



妊娠中の気になることや赤ちゃんへの声かけの仕方などを聞いて良かったです。お腹の赤ちゃんとのコミュニケーションが取れるキックゲームについて学びました。参加後は、夫と一緒に自宅でも実践し、赤ちゃんの反応を楽しむことができました。

馬渡 亜沙美さん、祐輔さん夫妻
（受講時は妊娠6か月）



問 子ども支援課 子ども健康係（内線2142）

くらしの情報

障がい者への理解促進・啓発事業に取り組んでいます。9月は24日にうましき里きららの楽校で開催予定です。

○お問い合わせ先

保健福祉課 福祉係
(内線2131)

さつま町・ふくしまルシェ▶



7月の火災救急情報

■火災	発生	0件	
■救急	急病	78件	65人
	交通事故	5件	3人
	その他	36件	34人
■ドクターヘリ	出動	5件	
	運んだ人		2人

○お問い合わせ先

消防総務課 総務係
☎ (52) 0119

道の日に清掃活動

8月5日、町職員などが8月10日の「道の日」にちなんだ町道などの清掃活動を行いました。生活に欠かせない道路の重要性について理解を深めるための美化活動に約100人が参加。道路沿いの除草や伐採などが行われ、通勤や通学で利用する道の見通しが良くなり安全できれいになりました。



いての移動年金相談所を開設します。申込みの際、相談者氏名(旧姓)・配偶者氏名(旧姓)・基礎年金番号・相談内容・連絡先などをお知らせください。

※必ず相談時間を確認(予約)し10分前にはご来場ください。

■当日必要なもの

- ・本人確認書類(免許証など)
 - ・代理の場合は、委任状と代理者の本人確認書類(免許証など)
- ※委任状は所定の様式があります。日本年金機構ホームページからダウンロードするか、川内年金事務所、町民環境課町民係、各支所町民福祉係へお問い合わせください。

・川内年金事務所
☎ 0996 (22) 5276
(自動音声案内①→②)

・日本年金機構ホームページ

年金相談を委任するとき▶



■日時

10月20日(木)
午前9時30分～
午後3時30分

■会場

役場本庁1階相談室B

■申込期間

9月29日(木)～
10月13日(木)

○申込み・お問い合わせ先

町民環境課 町民係
(内線2123)

お知らせ

9月は知的障害福祉月間です

鹿児島県手をつなぐ育成会では知的障がいがある方の地域社会での共生社会の実現を目指しています。障がいがあっても一人一人が自分らしく生きていけるよう、障がいへの理解と協力を呼びかけます。本町では、毎月24日に「さつま町・ふくしまルシェ」を開催し

くらしの情報

町のイベントや手続きなど
様々な情報をお知らせします

税金

今月の納税

- 固定資産税第3期
 - 国民健康保険税第3期
 - 後期高齢者医療保険料第3期
 - 介護保険料第3期
- 納期限……………9月30日(金)
口座振替日…9月26日(月)
- お問い合わせ先
税務課 収納係(内線2113)

募集

シルバー人材センター 入会者募集

人生も一毛作から二毛作に。豊富な知識と経験を活かし、一緒に働いてみませんか。条件次第では入会即就業も可能です。参加希望の方は電話でお申し込みください。当日直接参加も可能です。

■日時

9月20日(火)
午前9時～午前11時30分

■会場

町シルバー人材センター

■対象者

60歳以上の町民

○お問い合わせ先

町シルバー人材センター
☎ (52) 3363

年金

年金相談 事前予約が必要です

年金加入記録や受給手続き(障害年金・老齢年金請求)などにつ

私たちができる SDGs



SDGs=Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)

問 企画政策課 企画政策係(内線2224)



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



シリーズ「私たちができるSDGs④」

目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

人と地球に優しいエネルギーを使おう

世界では約8億人が電気を使えない生活をしています。また、日本では石油や石炭などのエネルギー源の約9割を輸入に頼っています。この目標では、全ての人々が手頃な価格で近代的なエネルギーを使えるようにすること環境に優しい再生可能エネルギーを増やすことを目指しています。

持続可能でクリーンなエネルギーとして、太陽光や太陽熱、水力、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーが注目されています。再生可能エネルギーは、使用しても資源を再生することができ、二酸化炭素を実質排出しないことが特徴です。

※動植物から生まれた再生可能な資源。化石燃料以外の木材や生ごみ、糞尿などから発電します。

さつま町にある
再生可能エネルギー



水力
鶴田ダム
発電と洪水調節機能があります。ダム見学も人気。



小水力
泊野川水力発電所
川の流れて水車を回し、発電しています。



太陽光
さんSUNさつま
災害時には非常用電源にもなる太陽光発電所です。



バイオマス
さつま町バイオマス発電所
主に地域の未利用木材を利用して発電します。

出前講座を行っています

出前講座「わたしたちができるSDGs」を開催しています。小学生から大人まで、SDGsの基本的知識や自分たちにもできる取組を楽しく分かりやすく教えます。受講希望者はお問い合わせ先にご連絡ください。



永野小学校5年
池山 歩希 さん

講座を受講しました！

食べられるのに捨てている食べ物が一年間で、東京ドーム5個分もあることを初めて知り、こんなに捨てているんだとびっくりしました。地球のためにできることの話合いでは「電気の節約をしよう」や「見つけたごみは拾おう」と意見が出ました。私も電気がついたままの部屋があったらすぐに消したり、エアコンはなるべく使わないように濡らしたタオルを使って体を冷やしたりしています。今日学んだことを家族にも話したいです。

ハピ坂で学んだよ



SDGsを楽しく学び、考える

今月の読者プレゼント

お便り

募集中



あび〜る館の人気一品
風味豊かな焙煎コーヒー

カルム コーヒー
Calme coffee



※ドリップパック5個で1セット

広報さつまにお便りをくださった方の中から**3名様**にプレゼント。ご応募お待ちしております♪

応募方法

住所、氏名、ペンネーム（ない場合は実名で掲載）、年齢、性別、電話番号を記入し、次の宛先までお送りください。

〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565-2
さつま町役場 広報さつま 行
メール：ki-koho@satsuma-net.jp

応募締切

9/30
(金)

当日消印有効

広報紙の感想や取り上げてほしい記事、身の周りの出来事、イラストや写真など、たくさんのお声を聞かせください。

※個人情報の取扱い…お便りのご紹介・賞品発送以外の目的では使用しません。

お便り紹介

毎日「うだる」ような暑さが続いています。広報さつま7月号の南高梅プレゼント掲載のお知らせに、我が意を得たりと一筆したためます。ウォーキング途中、梅の加工センター近くに来ると、梅漬けの最盛期とあって、屋外で作業をしていらつしやる所へお邪魔させて頂き、お話を聞くことでした。

まず驚くのは、容器の大きさ。5トン入る梅達が手際良く運ばれ、青梅、黄梅とカラフルな中に豪快に塩が振り入れられます。塩、塩、塩が混ざり、熟成の時間を待ち「土用の丑の日」の頃には天日干しされ、販路に乗るとのお話でした。暑い中、作業される方々の御苦労を思いつつ、是非、補水プラス塩分補給は町特産「南高梅」を頼張り消費拡大につなげませんか？
(ヤマセツミさん)

南高梅に対する熱い思いがお便りから伝わってきました。暑い日が続きますね。補水と南高梅で乗り切りましょう！
(永徳)

09

多文化共生

白 さつま町教育委員会



ワトル ニコラス ルパート
Whatle Nicholas Rupert さん (29)

英語のあいさつ

サンキュー
Thank you

ありがとう

ALTとして赴任したニコラスさんはジャマイカ出身。バレーボールやダンス、音楽が大好きです。日本人留学生に紹介され、日本文化に興味を持ったというニコラスさんは、日本の社会や経済などを調べ、もっと知りたいという気持ちを強くしました。さつま町の文化にも興味があり「地域の一員となって様々な活動に参加したいです。気軽に声を掛けてください」と話します。子どもたちにも世界中のことに興味を持ってほしいと考えるニコラスさんは「自分が見てきた世界中の文化を紹介したいです。そこから様々な生き方があることを学んでほしいですね」と目標を話しました。



表紙の写真説明

8月20日、宮之城文化センターで宮之城人形作り体験講座が行われました。以前から犬の人形を作ってみたかったという鶴田小学校1年の内菜都美さんは「犬の形を作るときに粘土が硬くて難しかったけど、色ぬりがとても楽しかった」と笑顔で話してくれました。(末永)



広告

トラクター・重機 **トラック・農機具** **見積り無料**
どこでもかけつけます!
古くても、壊れてても、不動車でも
高く買い取る ことを目指しています!!
広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、又は買取額10%UP致します。
TEL:0986-77-9092
農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
Avanti 携帯:080-3375-9750
〒885-1105 宮崎県都城市丸谷町 FAX:0986-77-9092
https://kaitirimiyazaki.jimdo.com

先日

娘と孫の女3人でさつま町をドライブ。南さつま市から遊びに来ました。何十年も生きて初めて訪れました。自然がとても豊かで、なんと言っても黒牛!!最高でした。宮之城温泉にも入り1泊2日じゃ物足りなかつたので、是非また行きたいです。さつま町、ありがとうございました!!
梅食べたい!!
(南さつまのちーさん)

父

の畑で沢山のミニトマトを収穫したので、トマトジュースを作りました。甘くて美味しいです。
(りんごタルトさん)

※このほかにもお便りをいただきました。文章は、紙面の都合上、添削させていただきます。
(永徳)

8月子牛せり市結果 期日：8月8日(月)～9日(火) (消費税抜き、売却分) 単位：頭・円・kg

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対7月分)
めす	293	163,406,000	2,626,000	557,700	278	74,650円安値
去勢	311	184,586,000	1,021,000	593,524	305	63,622円安値
合計	604	347,992,000	2,626,000	576,146	292	70,387円安値



広告

出水法律事務所

弁護士 米田 圭吾 (鹿児島県弁護士会所属)

鹿児島県出水市昭和町3-24

☎0996-79-3535

初回の相談は
1時間まで無料です。

月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時まで

相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。 **まずは、お電話でご予約ください。**

広告

墓石 納骨堂

銘碑の彫り込み

墓石・納骨堂 解体・撤去

お墓のリフォーム



確実な信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居 通
さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

1歳で～す

毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

やました そうたろう
山下 颯太郎ちゃん

令和3年9月4日生まれ



宮之城屋地地区

父 **佑一郎**さん
母 **恵理香**さん

颯太郎ちゃんへ
優しく、たくましい
子に育ててね!

徳留 采来 女 和樹 須杭	榎本 章人 男 晃喜 轟原	内村 颯来 男 拓也 時吉中城	川畑 葵 女 真人 下手	松井 七海 女 涼太 上向中	畑中 風花 女 伸一 五日町	あからちゃん 保護者 公民会
---------------------	---------------------	-----------------------	--------------------	----------------------	----------------------	-------------------

毛利 スミ子	原 忠幸	川口 ミチ	今村 トエ	今東 マサ子	左近 允 昭三	中野 秀行	安田 四江	木下 光治	酒匂 守	久保 ミツエ	なくなた人 年齢 公民会
89	43	87	92	94	93	87	91	96	87	93	
時吉中城	下京塚原	城之口	船木下	黒鳥	未栄の郷	北原	時吉中城	弓之尾	泊野高峰	広瀬	

上川 畑シゲ子	玉利 フチ	小平 ミドリ	畠中 弘子	吉留 千鶴	外越 キクエ	谷山 一子	原之蘭 淳	餅田 敦	北田 三郎	疇地 幸子	川上 一郎
91	106	94	90	91	93	98	82	93	74	89	86
大願寺	髯野中町	西湯田原	轟原	市場	船木西	大平	田原	船木東	大願寺	轟原	下手

戸籍の窓

7月16日～8月15日届出分

※届出人の同意分のみ掲載(敬称略)

おくやみ

さつま町一年生 地域プロジェクトディレクター 薩摩の“さつま”を知る!



「薩摩のさつま」紹介インタビューがスタート!

ブランド認証品の紹介と合わせて、商品の作り手の方からお話を伺うインタビューを開始しました。取材記事は、Webサービス「note」に掲載をしています。初回は「薩摩のさつま」を牽引されている、薩摩のさつまブランド推進協議会幹事長の堀之内力三さんにお話を伺いました。地域の未来に向けた取り組みとして、ぜひご覧ください。



note

青峯ディレクターからひとこと

今、商品やブランドは、その世界観や社会的意義で選ばれる時代と言われています。地域ブランドにおける世界観とは、さつま町の営みを支える人、風土、歴史にあるのではないのでしょうか。その世界観を認証品の背景として発信することで、認証品が地域の内外を結ぶ懸け橋になる。そんなPRにつなげたいと考えています。



薩摩のさつまとは

令和4年3月、本町とJA北さつま、町商工会、町観光特産品協会の結束により誕生した地域ブランドで、独自の認証基準を満たし自信を持っておすすめする逸品です。売上の一部は、未来あるさつま町の子どものための教育やスポーツのために活用され、地域社会に貢献します。

町長の動静 (令和4年7月)

※主な会議及び行事

29日(金)	28日(木)	27日(水)	26日(火)	25日(月)	24日(日)	22日(金)	21日(木)	20日(水)	19日(火)	15日(金)	14日(木)	13日(水)	12日(火)	11日(月)	8日(金)	7日(木)	6日(水)	5日(火)	4日(月)	3日(日)	1日(金)	
(株)プレシード立地協定調印式	県土地改良事業連合会理事會(鹿兒島市)	来客対応(佐志小150周年記念事業実行委員会委員長、佐志小教頭) 県建築住宅キャラバン訪問	治山林道協会議事録署名	県林業改良普及協会役員會(鹿兒島市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	町民環境課協議	企画政策課協議	町農業再生協議會總會	課長連絡會	南九州西回り自動車道建設促進期成會總會(出水市) 商工観光PR課協議	職員朝會	県治山林道協會總會(鹿兒島市)	消防本部協議	川内川改修促進期成會による川内川川事務所への要望	災害現地調査	指名推薦委員會報告	課長連絡會	町農業技術協會總會	県水源林造林協會役員會(鹿兒島市)	黒鳥公民會届出避難所登録証交付	職員朝會	
県水源林造林協會總會(鹿兒島市)	ALT退任報告及びJET大使任命式	建設課子ども支援課各課協議	ナシ収穫祭	来客対応(佐志小150周年記念事業実行委員会委員長、佐志小教頭) 県建築住宅キャラバン訪問	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)	鹿兒島大口幹線道路整備促進期成會(始良市)



26日 ALT退任報告及びJET大使任命式



3日 消防操法披露會

注目!

高校魅力化コーディネーター通信 1

薩摩中央高校の魅力をも町内外に発信する
高校魅力化コーディネーターの活動を紹介します



今月号では活動の1つ、地域みらい留学365について紹介します

ますみこ 升 澄子

地域みらい留学365ってなに?

「地域みらい留学365」は、高校2年生が今の学校とは別の学校に1年間留学し、異なる環境で地域の魅力や課題に向き合うことで、新しい挑戦を促す事業です。本校は国から採択された全国16校の一つ。高校1年生に向けて、オンライン会議で生徒と一緒に学校と町の魅力を紹介しました。興味を持った生徒が学校を見学する際は案内役も務めます。また、学校と地域のパイプ役となり、地域の課題探究のための校外活動をサポートします。



8月7日、オンライン会議で全国の高校生に薩摩中央高校をPR。2回行われた説明会で3組の参加者が留学に興味を示しました。



子どもたちが作ったさつま町の魅力あふれるカルタ

さつまカルタ

42/44枚



柘野の彼岸花

彼岸花は、少し涼しくなった9月中旬頃に突然茎が伸び、鮮やかな色の花を咲かせ、数日で花が終わり茎だけになります。花の時期には葉は無く、花が枯れると葉が出てくるといった特徴から「葉見ず花見ず」とも言われています。柘野地区では、9月23日の秋分の日の頃に、田んぼのあぜ道や土手に色鮮やかな彼岸花が咲き誇ります。辺り一面を真っ赤に染める風景は、訪れる人の心を和ませてくれます。



竹紙を使用しています
(竹パルプ 10%配合)

休日在宅医 / 当番薬局

※都合により変更になる場合があります。受診の際は事前に電話で確認してください。

9月	
ますざき医院 ☎52-4510	4日 ぎんざ薬局 ☎53-0500
薩摩郡医師会病院 ☎53-0326	11日 青空薬局 ☎52-0101
林田内科 ☎53-1177	18日 ぎんざ薬局 ☎53-0500
海江田医院 ☎53-0006	19日 タバタ薬局 ☎21-3344
クオラハピテーション病院 ☎53-1704	23日 my 薬局さつま ☎29-3100
鬼丸整形外科 ☎56-8811	25日 ウチ薬局 ☎53-0063
10月	
稲津病院 ☎52-3355	2日 やまだ薬局 ☎52-4585
薩摩郡医師会病院 ☎53-0326	9日 青空薬局 ☎52-0101
さつまクリニック ☎57-0020	10日 かぐや姫薬局 ☎29-3301

人口のうごき

令和4年8月1日現在 (前月比)
 人口 19,299人 (- 6)
 男 9,038人 (- 16)
 女 10,261人 (+ 10)
 世帯数 8,945世帯 (- 3)
 転入 55人 転出 36人
 出生 5人 死亡 30人

通学優先バス

— 臨時便の運行日 —
 9月：ありません
 10月：18日、19日

※臨時便運行日は最終便運休
 (問) 企画政策課 地域振興係